

HELLO SAGA



佐賀県国際交流・協力情報誌

心の国境をなくそう！
Free your heart of borders!

多文化共生セミナー 「心の国境をなくそう」



【サヘル・ローズさん講演会】

佐賀県には9,603人の外国人の方が暮らしています。
SPIRAでは「心の国境をなくそう」をスローガンに様々な
国籍の違いを超えて、日本人と外国人がともに理解しあい、
地域づくりを推進しています。
国内外問わず支援活動が続け、2020年にはアメリカで人権
活動家賞も受賞されたサヘル・ローズさんと一緒に多文化
共生を考えてみませんか？

日時: 7月28日(日) 13:30~15:00

会場: 佐賀商工ビル7F 大会議室
(佐賀市白山2丁目1-12)

参加費: 無料(要事前申込)

定員: 先着100名

本誌をご覧ください。時点で既に
定員に達している場合があります。
予めご了承ください。

申込: ☎0952-25-7921

✉info@spira.or.jp



申込みQRコード

主催: 公益財団法人 佐賀県国際交流協会・JICA九州

協力: 認定NPO法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

公益財団法人 佐賀県国際交流協会

Saga Prefecture International Relations Association (SPIRA)

さが多文化共生センター Center for Multicultural Society in Saga

佐賀県国際交流プラザ Saga International Plaza

〒840-0826

佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル 1階

Saga Shoko Build. 1F 2-1-12 Shirayama, Saga City

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055

E-mail: info@spira.or.jp

Consultation Service(相談専用) TEL:0952-22-7830

※2021年4月1日より、佐賀県国際交流プラザは、佐賀県国際交流協会が運営管理しています！ご利用をお待ちしております。



SPIRAイベントチェック



HELLO SAGA
バックナンバー

「外国につながる子ども」とは？

- ・親の事情で外国から来日した子ども（帰国子女を含む）
- ・日本で生まれ育った両親またはどちらかの親が外国籍の子ども
- ・保護者の国際結婚等により、家庭内言語が日本語以外の子どもなど国籍に関わらず、様々なケースがあります。



佐賀県の在留外国人数は毎年増え続け、県内の日本語指導が必要な児童生徒数（義務教育段階）はR5年時点で100人以上います。（その内4人に1人は日本国籍）

日本語が不十分な状態で入学されることもあり、異なる文化や習慣のなかで育ってきた子たちにとって日本の学校生活は、わからないことだらけで馴染むのに時間もかかります。また、日本語でお友達とコミュニケーションが取れても、授業で必要となる「学習言語」のハードルが高く、教科学習の難しさを感じることもあります。保護者の日本語力が低く、学校の宿題など家庭学習をサポートできないケースも少なくありません。

SPIRAでは、2つの学校支援を事業として行っています。

- ①子ども日本語学習サポーター ＜主な活動＞取り出しや授業への入り込みでの日本語指導
 - ②子ども通訳・メンタルサポーター＜主な活動＞進学説明会、保護者面談などでの通訳
- その他、土曜日・日曜日で開催されている日本語教室等も紹介させていただいています。

*外国につながる子どもが在籍する学校からの申請をいただいています。

保護者の方で、このサポーター派遣を希望される方は、お子さんの学校の先生にご相談ください。

そんな子どもたちを含む日本語を学習している方へ成果発表の場を作ろうと始めたSPIRA日本語スピーチコンテストも今年度9回目となり、現在、出場者を募集しています。

第9回 SPIRA日本語スピーチコンテスト出場者募集中!!



日時 2024年9月29日(日) 13:00～17:00 (予定)

場所 エスプラッツホール 佐賀市文化交流プラザ 交流センター内
(佐賀市白山2丁目7-1 エスプラッツ3F)

応募締切 2024年8月30日(金) 17:00

詳しくはこちらから



JICA OB・OG通信

JICAの皆さんはどんな活動をしているの？JICA海外協力隊やシニア海外ボランティアとして実際に派遣されていた方から、その活動についてお聞きます！



小林 香織さん
派遣国：パラグアイ
職種：家畜飼育

経歴：帯広畜産大学畜産学部食品科学ユニット→
十勝品質事業協同組合→有限会社ナカシマファーム→
JICA青年海外協力隊2022年度3次隊 パラグアイ共和国 家畜飼育派遣

Q1. 派遣先のパラグアイってどんな国？

パラグアイ共和国は日本のほぼ真裏、南米の中央に位置し、ブラジル、アルゼンチン、ボリビアと隣接しています。面積は日本の1.1倍、人口は約678万人です。パラグアイは東部と西部で気候が大きく異なり、乾燥している西部は人が少なく東部の人口が多いです。大豆やトウモロコシといった農牧畜業が盛んで、ダムがあることから電力もパラグアイ経済の主要産業です。日系移住地も多く、現在も日本から移住してきている人がいます。マテ茶と呼ばれるお茶を飲む文化があり、マイボトルを持っている方も多いです。スペイン語とグアラニー語の2か国語が公用語となっていますが、私の任地は移民が多い地域で、2言語の他にポルトガル語やドイツ語を話す方もいらっしゃいました。



Q2. 派遣時の活動内容について教えてください。

農協の本部に配属されていて、同僚とともに農家を訪問していました。同僚が抱える農家は50件弱で、片道2時間かかる農家もありました。ほとんどの農家が搾乳機械を使用しており、搾乳方法や農場管理の改善活動をしていました。乳品質の成績が悪くなった農家に対して原因や解決策を探し、ルーメンや乳房炎の病気を説明していました。同僚に対してはパソコンを使った分析方法なども伝えていました。

その他の活動としては同国内で活動されていた隊員とともに、乳製品の消費推進の活動も行いました。乳成分に関することやビタミンについて話し、乳製品を試食してもらいました。また、日本語学校に通う子供たちと一緒にチーズをつくるイベントも開催しました。大学の短期ボランティアの活動にも同行し、資料作りなどのサポートをしていました。

Q3. 派遣中の一番の思い出は何ですか？

いろんな思い出があります。特に、ホストファミリーと過ごしたことはどれも思い出に残っています。任地に到着してすぐに日本食を振舞ってほしいと頼まれ、寿司やカレーなどを振舞いました。週末には、アサードと呼ばれる豪快に焼いた塊肉と一緒に食べたことが懐かしいです。ホストファミリーはドイツ系移民の方々なのですが、移住した際に持ってきたイースト菌を未だに使っていることや、祖母から受け継がれたというアクセサリも見せていただき文化や家族のことを大事にされていてとても素敵な方々と巡り会えて幸せだと思いました。

隊員の方々も多職種、幅広い年代の方々がいらっしゃり沢山の刺激をいただきました。

Q4. 帰国後のお仕事について教えてください。

実家の農家の仕事に携わっています。また派遣期間中に日本でいくつも地震が起きました。土壌と防災の重要性を改めて感じ、県内で森林整備活動を主にされているNPO法人にボランティアとして参加もしています。今後、語学力や知識・経験を増やし、地域や日本で生活する外国人と交流を持って還元していきたいと考えています。

JICAボランティアに関するお問合せ・連絡先

(公財)佐賀県国際交流協会内 JICAデスク佐賀 石川 洸

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055

E-mail:jicadpd-desk-sagaken@jica.go.jp

共に笑って、共に暮らす佐賀県

佐賀県は、5月31日（金）に令和6年度第1回「多文化共生に関する県・市町合同職員研修」を開催しました。

今回の研修は災害時の外国人支援について学ぶ【座学】と、初の試みとして、災害時を想定し、グループで模擬避難所を巡回して外国人被災者へ聞き取りや情報提供を行う【実践】の2部構成で行いました。

座学では、災害時に県と佐賀県国際交流協会が設置する災害多言語支援センターの概要や、外国人被災者が直面する課題・困りごとについて理解し、外国人被災者への対応、市町職員との情報共有や連携強化を図りました。



実践では、佐賀ランゲージセンターの留学生20名に外国人被災者役として参加していただきました。参加職員はやさしい日本語やささまざまな多言語ツール・アプリ等を使用して、被災者役の留学生から困りごとの聞き取りをし、必要な情報を届けるよう取り組みました。

参加職員からは「対応に戸惑う点が多かった。」、「今日の気づきや反省点を持ち帰り、もしもの災害時に備えたい。」、「日本語教室等で災害をテーマに学ぶ場を作ってみてはどうか。」といった声が聞かれました。

研修をとおして、やさしい日本語でコミュニケーションを取る大切さや、このような災害支援は、外国人だけへの特別な支援・サービスではないという「住民支援」の視点で対応することへの理解を深めることができました。

災害時も外国人住民、日本人住民に関わらず、誰もが安心して行動できるように、今後も研修等に取り組んでいきます。

佐賀県地域交流部多文化共生さが推進課 TEL 0952-25-7328

フェスタ参加団体

7月5日締め切り迫る!

毎年10月に佐賀県国際交流推進月間の一環として、実施しておりますSPIRAさが国際フェスタですが、国スポ・全障スポの開催等の事情により、11月24日(日)、佐賀市のどんどんの森&アバンセで開催することになりました。現在、ステージ、飲食ブースや体験ブースの出展など、一緒にSPIRAさが国際フェスタを盛り上げてくださる皆様の募集しております。

当協会HPで、概要をご確認の上、7月5日までに申し込みください。お待ちしております!



国際フェスタHP



えびすFM「心の国境をなくそう!ラジオで地球発見隊」の放送日のお知らせ

えびすFMで「SPIRA、JICA九州、佐賀県海外協力協会」共同のラジオプログラム「心の国境をなくそう!ラジオで地球発見隊」を放送中です。

ゲストを交えながら国際交流・協力や多文化共生に関する情報を発信していますので、ぜひお聞きください。

⌚ 毎月第1、3、5水曜/19:00~20:00

第1、5水曜: JICA九州+佐賀県海外協力協会

『Jump to the World』

第3水曜: SPIRA (佐賀県国際交流協会)

『SPIRA 多文化わいわいわい』

聴取方法: ラジオ周波数「89.6MHz」、

スマホアプリ、パソコンからも聴取可能です

FMプラプラ



アプリ



佐賀県の外国人相談窓口 Consultation Service for Foreign Residents of Saga Prefecture! 佐賀県外国人相談窓口! 사가현 외국인 상담 창구! Trung tâm tư vấn cho người nước ngoài tại tỉnh Saga! Layanan Konsultasi Warga Asing Saga! සාගමයේ පැවැත්වෙන විදේශීය ජනවාර්ගයේ සභා මධ්‍යස්ථානය

●生活相談

●法律相談

●ビザ・在留資格の相談

●病院の通訳

●日本語の勉強

あなたの周りに困っている
外国人の方はいませんか?

佐賀県の外国人相談窓口

お困りの人がいたら、
さが多文化共生センターへ!

●外国人と関わる日本人の方からの
相談も受け付けています。

いろいろな
言語で相談が
できます

ホームページ



佐賀県 さが多文化共生センター
SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT Center for Multicultural Society in Saga

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル1階
TEL.0952-22-7830 [運営] (公財) 佐賀県国際交流協会 (SPIRA)

相談ができる時間 9:00~12:00・13:00~16:00

※土・日・祝日・年末年始12/29~1/3は閉まっています